



No.	できごと	内 容
1	新型コロナウイルス感染症	市民の皆さんの暮らしや地域経済、産業にも大きな影響を及ぼし、人々の価値観や行動も大きく変化した1年だった。(国体やオリンピック・パラリンピックの事前キャンプは中止、太平洋・島サミットはテレビ会議方式で行われた) 一方で、新型コロナワクチン接種事業では志摩医師会などと協力してスムーズに進めることができ、日本医師会や厚生労働省から好事例として紹介された。
2	G7 関係閣僚会合を志摩市へ誘致	令和5年に国内で開催予定の主要7カ国首脳会議(G7サミット)に合わせて開催される交通大臣の関係閣僚会合について、志摩市へ誘致することを三重県一見知事が表明。県は12月20日に正式に外務省に誘致計画を提出した。来年1月には県や志摩市、商工団体などで行く「G7関係閣僚会合誘致推進協議会(仮称)」を設立し、国に要望活動をしていく。国は来年5月以降に開催都市を決める予定。
3	太平洋島嶼国・日本地方自治体ネットワーク会議志摩市で開催決定	令和4年2月8日(火)～9日(水)、太平洋島嶼国・日本地方自治体ネットワーク会議が志摩市で開催されることが決定した。今回は太平洋・島サミットがテレビ会議方式で開催されたことにともない、首脳に代って太平洋島嶼国の駐日大使の参加を得て、三重県において単独で開催することとなった。
4	出産祝金制度の創設	子育て世代を支援し、安心して子育てができる志摩市をつくることを目的に令和3年4月1日以降に生まれた児童の保護者に対し、出産祝金として第2子は20万円、第3子以降は30万円を支給した。 (11月末現在、第2子39人、第3子27人合計66人に給付)
5	ガンガゼ駆除を実施	沿岸域で海藻が急速に減少していることから、漁業者と協力して原因の1つと考えられるガンガゼ等の駆除を行った。5月30日の甲賀地区から始まり、浜島・安乗・志島・船越・布施田・片田・和具・越賀・御座の各地区で、地元の海女・海士や刺網漁業者と協力して実施した。6月～11月までで約35,000個のガンガゼ、約2,000匹のブダイ等の魚類の駆除を行った。
6	教育旅行満足度向上事業の実施	教育旅行で志摩市を訪れた学校団体などに対して、志摩市特産ノベルティ(志摩産あおさを使用したオリジナルのベビースターラーメン)・志摩の風景を活かした写真撮影サービスを提供し、魅力ある旅行先として将来的にも継続して選ばれる地域となるよう取り組んだ。
7	地域活性化企業人交流プログラム事業の実施	日本航空株式会社、近畿日本ツーリストとそれぞれ連携協定を締結し、志摩市へされた社員はシティプロモーションなどの業務に従事した。
8	志摩市が全国で2番目のゼロカーボンパークに登録	令和3年6月、長野県松本市の乗鞍高原に続いて全国で2番目のゼロカーボンパークに登録された。
9	防災に関すること	令和3年6月、国土交通省が選定する「防災道の駅」に「道の駅伊勢志摩」が県内で唯一選定された。また、B&G財団が実施する「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業に、東海3県で唯一志摩市が選定され災害時に孤立化が懸念される地区への対応を進めている。
10	サミット記念館サミエール来館者50万人達成	近鉄賢島駅二階に平成29年5月に開館した伊勢志摩サミット記念館「サミエール」の入館者が11月3日、五十万人に達した。